

部局名	健康福祉部	所属名	障害者支援課	所属長名	石川 一俊	電 話	483-1151 内線2230
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4138	事務事業名称	障害者福祉センター運営管理事業						短縮コード	経常	4138	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害者福祉費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		根拠法令等		八千代市障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例								
☐ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
障害者の自立及び社会参加を支援することにより障害者の福祉の増進を図るため、平成20年11月に障害者福祉センターを開設した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総 合 計 画 の 施 策 体 系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして						
障害者の自立及び社会参加を支援する施設として、障害のある方やその家族の方等が利用しやすいように充実させなければならない。					大項目（節）	02	第2節社会福祉						
					中 項 目	03	3. 障害者（児）福祉						
					小 項 目	02	(2)障害者（児）保健福祉サービスの充実						
						03	(3)社会参加の促進						
					細 項 目	03	③障害者団体への支援						
03	③障害者（児）に対する理解の促進												
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	身体障害，知的障害及び精神障害のある者（児）及びその家族，障害者福祉センター							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 障害者福祉センターの管理運営。							
	※平成24年度に計画していること： 平成23年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	障害のある方及びその家族の方，障害者支援団体等の交流の場として活用してもらう。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	身体，知的，精神障害者数	人	6,320	6,665	6,650	6,982	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	障害者福祉センター開所日数	日	268	295	295	294	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	利用者人数	人	2,120	2,542	3,282	3,500	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4138	事務事業名称	障害者福祉センター運営管理事業			所属名	障害者支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			障害者団体等の協力を得ながら、障害者福祉センターの管理運営を行っていく。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			管理業務を再任用職員により行うなどして、経費削減に努めている。土曜日を開所としたことにより、利用者の増が見込める。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
機能回復訓練などができる、もっと大きな施設を建設してほしい。 日曜・祝日、夜間など利用しやすいように開所日、開所時間の拡大をしてほしい。							

所属長コメント	市内の障害者施設や障害者団体等と連携を図り、運営面の充実と管理に努める。						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。				
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							